

## オーディオ設定

本マザーボードはRealtek® オーディオコーデックは8チャンネルオーディオをサポートしており、またソフトウェアにより、Jack-Sensing 機能、S/PDIF 出力サポート、割り込み機能に対応しています。このコーデックはRealtek® 開発の UAJ® (Universal Audio Jack) テクノロジーを採用しており、全てのポートでこのテクノロジーをサポートしていますので、ケーブル接続エラーが起こらず、プラグアンドプレイ対応で接続が短時間で簡単にいきます。

インストールウィザードに従って、サポートCD/DVDからRealtek® Audio Driver をインストールしてください。

Realtek オーディオソフトウェアがインストールされると、タスクバーに Realtek HD Audio Manager アイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、Realtek HD Audio Manager が起動します。



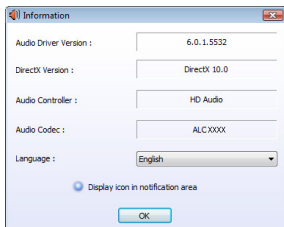
Realtek HD Audio Manager

### A. Realtek HD Audio Manager : Windows Vista™



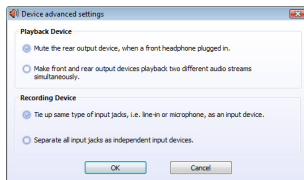
### Information (情報)

このボタン(Information icon)をクリックすると、オーディオドライバのバージョン、DirectXのバージョン、オーディオコントローラ、オーディオコーデック、言語設定等の情報が表示されます。




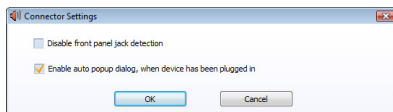
### Device advanced settings (詳細設定)

このボタンをクリックすると、再生・録音デバイスの詳細設定が表示されます。



## Connector settings (コネクタ設定)

このボタン(  )をクリックすると、アナログ/デジタル出力、入力ポートの詳細設定が表示されます。



## 設定オプション

設定する項目のタブをクリックし、各オーディオ設定を行います。

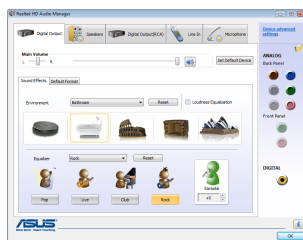


本マニュアルに記載した設定オプションは参照用です。実際に表示されるオプションとは異なる場合があります。ご了承ください。Windows Vista™ 環境ではRealtek HD Audio Managerがアナログ/デジタルポートに接続したデバイスを自動的に検出し、対応する設定オプションタブを表示します。

## Digital Output

デジタル出力の設定

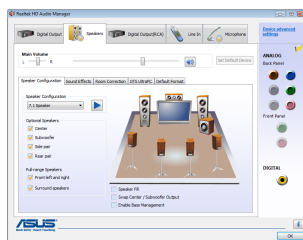
1. 「**Digital Output**」タブをクリックします。
2. 「**Set Default Device**」をクリックし、デジタル出力ポートを、初期設定オーディオ出力デバイスに設定します。
3. 「**Sound Effects**」サブタブをクリックし、アコースティック環境やカラオケの設定を選択します。または、「**Default Format**」タブをクリックし、初期設定オーディオ出力フォーマットの設定を選択します。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Speakers

スピーカーの設定

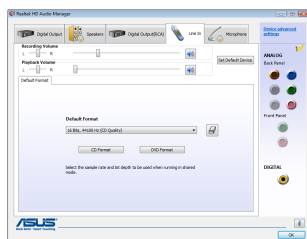
1. 「**Speakers**」タブをクリックします。
2. 「**Set Default Device**」をクリックし、アナログポートを初期設定オーディオ出力デバイスに設定します。
3. 「**Speaker Configuration**」タブをクリックし、オーディオチャンネル、テストの設定を行います。
4. 「**Sound Effects**」タブをクリックしアコースティック環境やカラオケの設定を選択します。
5. 「**Room Correction**」タブをクリックしスピーカーの距離を個別に調節します。
6. 「**DTS UltraPC**」タブをクリックし、DTS UltraPC 機能の有効/無効を設定します。
7. 「**Default Format**」サブタブをクリックし、初期設定オーディオ入力フォーマットを変更します。
8. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Line In

アナログライン入力を設定

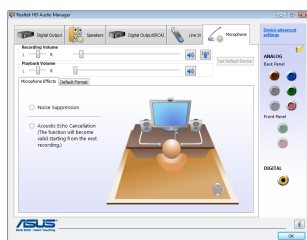
1. 「**Line In**」タブをクリックします。
2. 「**Set Default Device**」をクリックし、アナログライン入力ポートを初期設定オーディオ入力デバイスに設定します。
3. Line In タブでは、録音、再生の際のボリュームを調節し、オーディオ入力の初期設定フォーマットを設定できます。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Microphone

マイクの設定


1. 「**Microphone**」タブをクリックします。
2. 「**Microphone Effects**」サブタブで「**Noise Suppression**」をクリックし、レコーディングの際のノイズを減らします。「**Acoustic Echo Cancellation**」をクリックし、レコーディングの際のフロントスピーカーのエコーを減らします。
3. 「**Default Format**」サブタブをクリックし、初期設定オーディオ入力フォーマットを変更します。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。

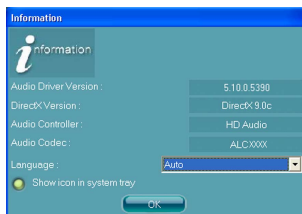


## B. Realtek HD Audio Manager for Windows XP



## Information

このボタン  をクリックすると、オーディオドライババージョン、DirectX バージョン、オーディオコントロール、オーディオコーデック、言語設定の各インフォメーションが表示されます。



## 設定オプション

設定する項目のタブをクリックし、各オーディオ設定を行います。

### Sound Effect

サウンドエフェクトの設定

1. 「**Sound Effect**」タブをクリックします。
2. ショートカットボタンまたはドロップダウンメニューをクリックし、アコースティック環境、イコライザの調整、カラオケの設定を選択します。




### Mixer

ミキサーの設定

1. 「**Mixer**」タブをクリックします。
2. ボリュームボタンで Playback と Record ボリュームを調節します。




ミキサーオプションは初期設定では全てのチャンネルからのボイス入力有効です。ボイス入力が不要の場合は、全てのチャンネルをミュート  にしてください。



3. Wave, SW Synth, Front, Rear, CD ボリューム、Mic ボリューム、Line ボリューム、Stereo Mix コントロールタブをクリック・ドラッグして調節します。




他のメニューオプションを表示するには  をクリックします。

4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。

## Audio I/O


### Audio I/O オプションの設定

1. 「**Audio I/O**」をクリックします。
2. ドロップダウンメニューからチャンネル設定 (接続するスピーカー) を選択します。
3. コントロール設定ウィンドウに接続したデバイスの状態が表示されます。 をクリックしアナログまたは、デジタルを選択します。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Microphone

### Microphone オプション

1. 「**Microphone**」タブをクリックします。
2. **Noise Suppression** をクリックし、レコーディングの際のノイズを減らします。
3. **Acoustic Echo Cancellation** をクリックし、レコーディングの際のフロントスピーカーのエコーを減らします。
4. **Beam Forming** をクリックし、周囲のノイズを軽減します。マイクのキャリブレーションを行うには  をクリックします。
5. 「**OK**」をクリックし退出します。



## 3D Audio Demo

### 3D Audio Demo の開始

1. 「**3D Audio Demo**」タブをクリックします。
2. オプションボタンをクリックしサウンド、ムービングパス (軌道)、環境設定を変更します。
3.  をクリックし設定をテストします。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。

